

令和3年1月21日



担当課	文化振興課
担当者	宮脇・辻瀬
電話	(073) 435-1194
内線	3026

令和2年度 和歌山市文化表彰について

令和2年度和歌山市文化表彰の受賞者が決まりましたので、お知らせします。

1 趣旨

本市文化の向上発展に特に顕著な功績のある個人又は団体に対し表彰を行います。

- (1) 文化賞 文化の向上発展に特に顕著な業績を残したと認められる者
- (2) 文化功労賞 文化の向上発展に貢献し、その功労が特に顕著である者
- (3) 文化奨励賞 すぐれた文化の創造又は普及活動を続け、市民の文化向上に寄与している者

2 受賞者

和歌山市文化表彰選考委員会での選考を経て、別紙のとおり各賞の受賞者を決定しました。

- (1) 文化賞 1人
- (2) 文化功労賞 2人
- (3) 文化奨励賞 1人、1団体

3 表彰式

- (1) 日時 令和3年1月26日(火) 午前10時から11時まで(予定)
- (2) 場所 和歌の浦アート・キューブ 多目的ホール
(和歌山市和歌浦南3丁目10番1号 TEL 073-445-1188)

4 賞

表彰状、^{きしゅう}徽章(団体には楯)及び副賞をお贈りします。

5 沿革

昭和57年度から実施しており、本年度で39回目を迎えます。

6 過去受賞者数

文化賞37人、文化功労賞66人・2団体、文化奨励賞35人・25団体
計165

※新型コロナウイルス感染対策を講じたうえで開催します。

表彰式は、関係者以外立ち入り禁止です。

【令和2年度和歌山市 文化表彰 受賞者】

【文化賞】

音楽家 HYDE



【文化功労賞】

伝統工芸 志賀 啓二



【文化功労賞】

国際交流 ユズル・ジム・コジマ



【文化奨励賞】

児童文学作家 高田 友紀子



【文化奨励賞 団体】

文化活動 山東まちづくり会



令和2年度 和歌山市文化表彰 (4名1団体)

○文化賞 (1名) ※HYDE 様は当日は欠席ですが、ビデオメッセージをいただける予定です。

氏名	年齢	現住所	部門	略歴
ハイデ HYDE	51歳	東京都	音楽家	和歌山市出身の音楽家。バンド「L' Arc~en~Ciel (ラルク・アン・シエル)」のヴォーカルを務め、バンドのほとんどの楽曲において作詞を手掛けるなど、バンドの中心的存在として活動。全世界で4,000万枚以上のCDセールスを誇り、コンサート動員も累計400万人を超える。「HYDE」名義でソロ活動も積極的に行い、平成31年1月30日には「和歌山市ふるさと観光大使」第1号に就任、南海電鉄の特急サザンとコラボした「HYDE サザン」のプロデュースにも関わる。日本のみならず海外でも人気を博す偉大なアーティストであり、音楽文化の普及・発展に多大な功績を残すとともに、本市の地域振興にも大きく貢献している。

○文化功労賞 (2名) ※ユズル・ジム・コジマ様は当日欠席ですが、オンラインで繋がる予定です。

氏名	年齢	現住所	部門	略歴
シガ ケイジ 志賀 啓二	71歳	和歌山市	伝統工芸	シガ木工6代目として、和歌山市では江戸時代から製造されていたという桐箆笥の製作、伝統工芸の継承、後進の育成に日々邁進している。長年培われてきた箆笥製造の技術は和歌山県内外で高い評価を受け、経済産業大臣指定の伝統的工芸品に指定されている。社内で7人の伝統工芸士を育成、氏自身も伝統工芸士の認定を受けている。技術者としてだけでなく、後進の指導育成、伝統工芸の発展に多大な功績を残している。
ユズル・ジム・コジマ	82歳	カナダ	国際交流	リッチモンド姉妹都市委員会の副会長を務め、和歌山市とリッチモンド市の架け橋として、45年もの長きにわたり、友好関係・国際交流の向上に尽力している。 昭和49年には国際柔道連盟の審判員に選出され6回のオリンピックに参加、カナダ柔道連盟の副会長・会長を歴任する。平成23年の東日本大震災後は、リッチモンド市で募った義援金を宮城県女川町に寄付。多岐に渡る活動は和歌山市とリッチモンド市の姉妹都市交流に多大な功績を残している。

○文化奨励賞 (1名1団体)

氏名	年齢	現住所	部門	略歴
タカダ ユキコ 高田 友紀子 (たかだ ゆき子)	25歳	和歌山市	児童文学作家	生まれつき肢体に障がいがあり、車いすで生活している和歌山市出身の児童文学作家。幅広い世代から「ゆっこりん」の愛称で親しまれている。令和元年「はじめての うみ」・「やさしい きもち」、令和2年「ゆうき と えがお」を出版。執筆以外にも講演や講話、お話し会「ゆっこりんのおはなし会」を開催、また、和歌山県サーフィン連盟アンバサダー・和歌山ライフセービングクラブアンバサダーとして海からのバリアフリーも発信している。幅広い活動を通してさりげない優しさや気遣いを日常生活で自然と実践できるようになることを願い、偏見や差別をなくす活動に尽力しており、これからの活躍に大きな期待が寄せられている。
サンドウ 山東まちづくり会	平成21年創立	和歌山市	文化活動	平成21年に和歌山市山東の地元住民が「山東の人をつなぎ、山東で人をつなぐ」を合言葉に山東まちづくり会を立ち上げ、地域活性化に取り組んでいる。現在、20代から80代の幅広い年齢層の会員が豊かな自然を生かした様々なイベントを実施している。なかでもマスコットキャラクターの「たけのこまん」は和歌山市に定着し、多くの人に愛されており、同まちづくり会の活動は今後の本市の地域活性化に大いに期待されている。

※年齢は11月1日現在のものを記載。